

議案審議

副市長に八重樫和彦氏を選任



八重樫和彦 副市長

新年度予算案を除く議案の審議を3月5日に行い、東和高齢者創作館を廃止する花巻市高齢者創作館条例の一部を改正する条例や、火葬場の使用料を改める花巻市営火葬場条例の一部を改正する条例、令和2年度花巻市一般会計補正予算(第28号)など34の議案について審議し、いずれも全会一致で可決しました。

また、定例会最終日には副市長の選任、教育長および教育委員の任命に関する議案が追加提案されました。副市長に八重樫和彦氏(新任)、教育長に佐藤勝氏(再任)、教育委員に中村弘樹氏(再任)について、それぞれ全会一致で同意しました。

主な可決議案や質疑は、次のとおりです。

花巻市高齢者創作館条例の一部を改正する条例

可決

要旨…耐震診断の結果、耐震性を確保しておらず今後の利活用が見込めないことから、東和高齢者創作館を廃止し、所要の改正をしようとするもの。

質疑

- 質問…施設の活用状況を伺う。
- 答弁…月2回程度陶芸サークルで約10人の利用のみであり、今後同サークルは石鳥谷高齢者創作館で石鳥谷陶芸サークルと一緒に活動する予定である。

辺地に係る総合整備計画の策定に関し議決を求めることについて

可決

要旨…横志田辺地、滝田辺地、大迫辺地それぞれに総合整備計画を定めるもの。この計画策定によって市道や消防施設等の整備に国の有利な財源が活用できる。

質疑

- 質問…辺地要件に該当していながら、いまだに計画が策定されていない辺地が5カ所ほどある。これらの辺地計画はいつ策定されるのか。
- 答弁…東和、北小山田、北前田、外谷地そして八日市についても計画を策定できるが、この先事業を見ながら、活用できる事業が出てきた場合に計画を新たに策定しようと考えている。

令和3年第1回定例会

令和3年度一般会計予算を修正可決

J R花巻駅東西自由通路関連予算を削除



賛否が拮抗した令和3年度花巻市一般会計予算の修正案の採決。賛成多数により修正案を可決しました

令和3年第1回花巻市議会定例会は、2月26日から3月17日までの20日間の日程で開かれました。

定例会最終日、予算特別委員会委員長が令和3年度予算について審査の結果を報告。令和3年度花巻市一般会計予算については、「花巻駅東西自由通路整備基本計画追加調査業務」が含まれた測量調査等の業務委託料2603万2千円を都市計画費から減額した修正案のとおり可決すべきものとして報告しました。

採決の前に討論が行われ、修正案に賛成の立場からは「事業実施自体を否定するものではないが、もっと広い範囲で市民の意見を求め、市民参画を図るべき」という考えが示されました。また、修正案に反対の立場からは「アンケートの結果※から、およそ80%もの市民が事業に賛成している」等の考えが示されました。

採決の結果、起立多数により修正案を可決。修正案で減額した以外の予算案は全会一致で可決し、令和3年度花巻市一般会計当初予算は488億9861万7千円となりました。

※住民説明会で行ったアンケートの回答者は56人。うち約80%が賛成。

賛成討論

・市民クラブ 高橋 修 議員
事業の実施自体を否定するものではないが、もっと広い範囲で市民や不動産事業者等から意見を求め、市民参画を図るべき。それを踏まえたうえでの測量調査であれば、大迫・石鳥谷・東和も含めたより多くの市民や団体からも納得する理解が得られるのではないかと。また、補助金ありきで建設を急ぐのではなく、橋上化の年間の維持費がどれくらいかかるのかを十分に分析し、市の人口が減少した場合でも自主財源等で施設を維持できるようにし未来へ引き継ぐべきものである。

反対討論

・明和会 佐藤峰樹 議員
アンケートの結果※から、およそ80%の市民が事業の実施に賛成している。十分に調査を行い事業の素案を示すことが自治体の責任である。

・無会派 藤井幸介 議員
温泉施設が駅西に集中しているのに駅西口がないのはおかしいという声がある。

・平和環境市民クラブ 照井省三 議員
駅はまちの顔であり、まち中の活性化と花巻市全体のまちづくりに重要な事業である。

・無会派 大原 健 議員
駅はそのまちの顔であり、シンボルである。地下連絡通路は築40年以上経過し老朽化している。

一般会計予算修正案に対して

採決の結果、賛成多数（賛成14・反対11）により修正案を可決